

各 位

上場会社名 ケイティケイ株式会社  
 代表者 代表取締役社長 青山 英生  
 (コード番号 3035)  
 問合せ先責任者 常務取締役管理部長 木村 裕史  
 (TEL 052-931-1881)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年10月4日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成25年8月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年8月21日～平成25年2月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,172	15	15	15	3.62
今回修正予想(B)	4,095	△2	△1	24	5.59
増減額(B-A)	△76	△18	△17	8	
増減率(%)	△1.8	—	—	53.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年8月期第2四半期)	4,188	21	20	7	2.10

平成25年8月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年8月21日～平成25年2月20日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,179	△8	△8	△1.94
今回修正予想(B)	4,099	△15	△12	△2.85
増減額(B-A)	△80	△7	△3	
増減率(%)	△1.9	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年8月期第2四半期)	4,196	1	△3	△0.92

- (注)1. 前期の決算期の変更(5月20日を8月20日)に伴い、平成25年8月期第2四半期(平成24年8月21日～平成25年2月20日)と比較対象となる平成24年8月期第2四半期(平成23年5月21日～平成23年11月20日)は期間が異なります。
2. 平成24年12月21日を効力発生日とする株式会社青雲クラウンの完全子会社化に伴う株式交換を行っております。なお、同社の決算日と連結決算日との差異は、3か月を超えないため、同社の業績は、四半期連結損益計算書には含まれておりません。

#### 修正の理由

##### (1)第2四半期連結累計期間業績予想の修正理由

当第2四半期連結累計期間(平成24年8月21日～平成25年2月20日)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などを背景に緩やかな回復の兆しが見られる中、平成24年12月の政権交代に伴う自由民主党新政権による経済政策(いわゆるアベノミクス)が円安株高の流れを引き起こしたことで、本格的な景気回復に対する期待感が高まっております。しかしながら、海外では欧州債務危機の再燃懸念、また国内に目を向ければ依然として高い水準にある失業率、将来の消費税増税の心理的影響等が、足元の個人消費に微妙な影を落としており、先行き不透明な状態で推移しました。このような中で、当社グループを取り巻く経営環境は、企業における節約志向が恒常化しているため、主力商品であるリサイクルトナーなどの消耗品の受注競争はますます激化し、引き続き厳しい状況が続いております。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は1.8%減少の4,095百万円、営業損失は2百万円、経常損失は1百万円と前回発表予想を下回る見込みであります。なお、株式会社青雲クラウンの子会社化に伴う負ののれん発生益26百万円により、四半期純利益は24百万円(前回予想は15百万円の四半期純利益)と前回発表予想を上回る見込みであります。

##### (2)第2四半期個別累計期間業績予想の修正理由

(1)の第2四半期連結累計期間業績予想の修正理由と同様の理由にて修正いたします。売上高は1.9%減少の4,099百万円、経常損失は15百万円、四半期純損失は12百万円(前回予想は8百万円の四半期純損失)と前回発表予想を下回る見込みであります。

なお、平成25年8月期通期の業績予想につきましては、経済・金融政策の効果により市場環境の好転が見込まれ、営業活動の活発化とともに、さらなるコスト圧縮に努めることから、業績の回復は十分可能であると判断し、平成24年10月4日に公表した通期業績予想は変更いたしません。今後、何らかの変化がある場合には適時に開示いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成24年10月4日発表)	—	4.00	—	4.00	8.00
今回修正予想	—	3.00	—	4.00	7.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成24年8月期)	—	4.00	—	3.00	7.00

修正の理由

当社では、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、安定的な配当の継続を重視して株主への利益還元に努めておりますが、同時に、経済環境の変化に備えた財務体質強化、ならびに将来の事業展開のための内部留保の充実にも十分に留意する必要があると考えております。

中間の配当金の予想につきましては、平成25年8月期第2四半期の業績予想の修正に伴い、誠に遺憾ではございますが、1株当たり4円と発表しておりました中間配当の予想を、1円減配の3円に修正させていただきます。

また、期末の配当金予想につきましては、業績の回復を見込んでおり従来予想の4円を据え置いております。これにより年間配当金は7円を見込んでおります。

なお、中間配当につきましては、平成25年3月29日の当社取締役会で決議予定です。

(注)本資料に記載されている業績及び配当予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上